

今回は
外交文書
ねつ造

自動車のために食料・経済主権を差し出す

隠ぺい、改ざん、ねつ造、虚偽答弁…何でもありで国民にウソをつく安倍政権。今度は外交文書のねつ造までやって、日本の国益・食料と経

済の主権までアメリカに売り渡そうとしています。いよいよ末期症状の売国・亡国政権。国民の手で退陣させましょう。

亡国
売国

安倍政権を退陣に追い込もう

●翻訳をねつ造 首相答弁に合わせ国民にウソをつく

ありもしない「TAG」

●英文(正式の文書)

The United States and Japan will enter into negotiations <中略> for a United States-Japan **Trade Agreement on goods**, as well as on other key areas including services <略> 日本政府の翻訳文は小文字の「g」を大文字の「G」に改ざんしている

●在日米国大使館の翻訳文

米国と日本は、<中略> 物品、またサービスを含むその他重要分野における日米貿易協定の交渉を開始する。

9月26日の日米共同声明。新たな貿易協定の交渉に入ると、安倍・トランプ両首脳が合意したと発表されました。ところが、声明文の中身が日米で違っていることが明らかになりました。

正式文書は英文で貿易協定について左欄の下線部のように記載。この「goods」の部分日本政府は勝手に「Goods」と変えて「TAG」なる新語をねつ造。物品だけが貿易協定交渉の対象で、包括的なFTA(自由貿易協定)ではないと国民をだまそうとする大問題です。

安倍首相の「日米FTAではない」との国会答弁とのつじつま合わせで外交文書まで改ざん。「森友・加計」問題と同じ国民愚弄の構図です。

●またしても屈従外交 どこまで国益を損なうのか

「もし日本が交渉に応じないなら相当な割合の関税を日本車に課すつもりだ」—10月1日にこう述べた米・トランプ大統領。日米貿易協定の交渉入り合意の経緯を明かしてみせました。

9月26日の日米首脳会談。米側が自動車への高関税措置を伝えると日本側は「すぐに交渉を始めたい」と言った、とトランプ氏。高関税措置で脅されて日米FTAの交渉入りを飲まされた日本・安倍政権の対米屈従ぶりが、またしても示されたかたちです。

その情けない政権が自国民向けには「FTAではない」と外交文書のねつ造までしてウソをつき続ける。こんな亡国政権は一日も早く退陣させましょう。

外交破たん ロシアでも

9月12日の東方経済フォーラム。ロシア・プーチン大統領から「前提条件なしの平和条約締結」と言われ、ただ黙っていた安倍首相。平和条約なら国境が画定、千島領土問題解決の放棄という重大事なのに対応能力がない有様で、国益を損なうばかりです。

農業・くらし・経済まもる新しい希望の政治を

2019年 市議選・参院選で日本共産党を伸ばしてください

4月 大府市議選

4月21日投票予定。現職・久永かずえ市議、新人・長坂よしのり党市政委員長の2名で2議席回復に全力をあげています。お力をお貸してください。

7月 参議院選

愛知選挙区では新人・すやま初美党県常任委員が議席回復に挑みます。比例代表は **日本共産党** を

